

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	大津市立 東部こども療育センターのびのび教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月 13日		～ 令和8年2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和7年11月17日		～ 令和8年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員数が少なく余裕はないが、出来事などを職員間で確認する際、時間をかけずに伝えあうことができる。また、イメージなどの共有がしやすい。	朝礼では、必ずクラスの今の様子や気をつけていること、配慮していることなどを全職員に知らせている。バス添乗で朝礼に参加できない時も、添乗が終わり次第朝礼の内容を知ることができるように記録している。	気が付いたことをうわさで終えるのではなく、自分の目で確認し感じた事を書き留める事を推奨していこうと考えている。
2	リーダー会議を月2回行うことで、各クラスの様子をよりわかりあえるようにしている。	活発に話せる雰囲気づくりをする。	会議の時間配分を考慮しながら進めていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園舎が横に長いことや、電話が通じにくい場所があることで、すぐに伝えたいことがあるときに、不便なことがある。	園舎自体が不便なつくりのため、解決は難しい。小さいことでも伝えあうことを心掛けられていないのではないかな。	内線を使い、必要事項を伝える。急ぎの時は走る。どこに誰がいるかの把握ができるよう、お互いどこにいるか行くかなどをこまめに伝えあえるようにする。 電話については、今後改善に向けて検討を進めていく。
2			
3			